

令和5年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	国語表現	単位数	2	対象学年・組	3年X・Y選択
教科書 使用教材	「国語表現 改訂版」 教育出版	教科担任			

1. 目標

1. 自己を見つめ、正しい言葉で適切に表現する力を養う。
2. 読み手・聞き手に対し、自己の考えを伝達できる力を養う。
3. 国語的常識を身に付け、語彙力や漢字力を豊富にする。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	国語表現への導入 自己紹介をする 他己紹介をする 自己PR文を書く 小論文を書く	・声の出し方・スピーチの方法について知り、自分の意見を発表することができる。 ・言葉についての様々な表現方法について学び、豊かな表現をすることができる。 ・自己PR文、小論文の構成を理解し、適切に文章にすることができる。	声の出し方や話し方などに注意し、わかりやすいスピーチができるようにする。 小論文を書かせることで、自分の意見を論理的に述べるためのを指導する。	トータルで 単位数 X18 Y18
2 学期	小論文を書く プレゼンテーションの方法 メディアリテラシーを学ぶ	・根拠をもって、自分の主張を述べるができる。 ・発表の技法を学ぶことで、目的に応じた表現ができる。 ・パワーポイントを使用しての発表に慣れる。 ・メディアの特性を知り、発信者の立場を読み取ることができる。	メディアの比較等の活動を通して、発信者の立場を読み取り、批判的に捉える姿勢を養う。	トータルで 単位数 X24 Y24
3 学期	国語表現のまとめ ポップをつくる	・用紙の使い方、見る人の視点に留意し、目的に応じた文章や宣伝文句などを書くことができる。	目的に応じた文章の書き方、構成に留意し、適切に表現できるように指導する。	トータルで 単位数 X8 Y8

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

1. 自己や社会について深く考え、積極的に発言する。
2. 論理的な思考と適切な文章を心掛ける。
3. 読み手や聞き手の立場に立って考え、的確な表現を目指す。

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

1. 授業に取り組む姿勢ができていないか。(授業態度、学習意欲、出席状況による評価)